

平成27年度事業団報告書

事業団管理の概要

1. 理事会、監事会、評議員会状況

- 平成27年 5月13日 八代市社会福祉事業団監事会を開き、監事（馬淵 惺敬氏、徳田 武治氏）による平成26年度事業、会計収支決算等の全般にわたる監査を八代市立希望の里たいように於いて実施し、事業団定款第19条に基づき監事の承認を受けた。
- 平成27年 5月22日 第120回（平成27年2回）理事会を八代市立希望の里たいよう会議室で開催し、平成26年度事業報告・会計収支決算等の審議を行い、監事監査報告のうえ事業団定款第19条に基づき理事会の認定を受けた。また、事業団理事・監事の選任、評議員の選任、事業団諸規程の改正について審議を行い、理事会の承認を受けた。
- 平成27年 5月27日 平成26年度資産総額の変更登記及び代表理事の重任登記について組合等登記令第3条及び第3項に基づき法務局への登記手続を完了した。（平成27年5月28日完了）
- 平成27年 7月 2日 第121回（平成27年3回）理事会を八代市立希望の里たいよう会議室で開催し、職務代理者の指名について、並びに職務代理者の選任について審議を行い、理事会の承認を受けた。
- 平成27年 7月 2日 第1回（平成27年1回）評議員会を八代市立希望の里たいよう会議室で開催し、八代市社会福祉事業団状況説明について審議を行い、評議員会の承認を受けた。
- 平成27年11月17日 第2回（平成27年2回）評議員会を八代市立希望の里たいよう会議室で開催し、平成27年度会計収支補正予算(案)、並びに事業団理事の選任について審議を行い、評議員会の承認を受けた。
- 平成27年12月24日 第122回（平成27年4回）理事会を八代市立希望の里たいよう会議室で開催し、平成27年度会計収支補正予算(案)、職務代理者の指名について、並びに職務代理者の選任について審議を行い、理事会の承認を受けた。
- 平成28年 3月25日 第3回（平成28年1回）評議員会を八代市立希望の里たいよう会議室で開催し、平成27年度会計収支補正予算(案)、平成28年度事業計画・当初予算(案)について審議を行い、評議員会の承認を受けた。
- 平成28年 3月25日 第123回（平成28年1回）理事会を八代市立希望の里たいよう会議室で開催し、平成27年度会計収支補正予算(案)、平成28年度事業計画・当初予算(案)、事業団諸規程の改正について、並びに事業団人事案件について審議を行い、理事会の承認を受けた。

2. 経営計画

- ・本年度も財政改革に取組み、事務費事業費経費等の削減を実施し、将来に向けて安定経営が出来るよう各施設の運転資金等の財源確保に努めた。
 - ・本年度は、八代市立希望の里たいよう（障がい福祉サービス事業）の指定管理者と保寿寮（養護老人ホーム）と八代市のぞみ母子センター（障害児通所支援事業）と相談支援事業所たいよう（相談支援事業）を自主事業、また、保寿寮（高齢者短期入所事業）八代市のぞみ母子センター（八代圏域地域療育センター事業）の事業の受託事業として、利用者に対して質の高い福祉サービスを提供し、安全で安心して利用できるような施設管理運営に努め、特に職員の意識改革を図った。
- 法人、施設経営への参画意識を高める
財政面においては大変厳しい状況下にあることを職員一人一人が認識し、施設等の基準収入（措置費、給付費）、業務委託収入、法人独自の自主事業収入を基本とし、事業経費の効率的な運用を行った。
- 人材の育成
今、地域社会が求める福祉ニーズの内容は、より高度化、複雑化しており、このような複雑多様化するニーズに柔軟に対応しながら、福祉サービス利用者の人間性を尊重し、より満足度の高い福祉サービス提供するためには、各種業務に従事している職員一人一人が、組織人としてのモラルを高め自己啓発を行うと共に、その職種に応じた専門的知識・支援技術の向上に努めた。

3. 指定管理者の状況

- ・希望の里たいようの指定管理者に指定されるまでの流れ
- 平成27年7月16日 八代市より指定管理者の募集(非公募)の連絡
八代市公の施設に係る指定管理者の指定の手続きに関する条例
(平成17年八代市条例240号)
- 平成27年8月28日 八代市へ指定管理者指定申請書を提出
- 平成27年10月23日 八代市指定管理者候補者選定委員会にてプレゼンテーションを行なう
- 平成27年10月28日 八代市より指定管理者候補者の選定結果通知がある
- 平成27年12月16日 八代市より指定管理者指定通知書の通知がある（八市障支生第1725号）
- 平成28年4月1日 八代市との協定書の締結
希望の里たいよう 指定期間 平成28年4月1日から平成33年3月31日(5年間)

4. 施設運営の変更等

- ・施設の住所変更として、平成28年4月1日から相談支援事業所たいようが麦島東町から日奈久平成町(保寿寮内)へ変更となる。(平成28年3月変更届提出)

- 5. 苦情相談状況 ・各施設に苦情受付担当者及び苦情解決責任者を置き、利用者が福祉サービスを適正に利用できるように相談業務を実施した。その結果、特に苦情に繋がるものはなかった。また、苦情解決相談委員会を開催し各施設の状況報告を行い、苦情解決第三者委員により助言をいただいた。
- 6. 施設長会 ・事業団及び各施設の連携と円滑な運営を図るため、毎月1回定期的に開催した。
・必要に応じて臨時に施設長会を開催した。
- 7. 職員会議 ・事業団職員の意志疎通を図り、連携を深めるため、平成27年9月、平成28年2月に事業団会計庶務担当国会議を定期的を実施した。
なお、事業団内部経理監査を併せて実施した。
- 8. 職員研修 ・事業団職員の資質向上を図るため、各施設において内部研修等を実施した。
・事業団職員が組織人としてのモラルを高めるため、職業倫理及び服務規律について平成27年7月、平成27年8月に事業団職員研修を実施した。
- 9. 人事関係 ・事業団組織（各施設間）機能をより強化し、かつ、活性化を図りながら円滑、円満で効率的な運営ができるよう職員体制を整え、又職員の活力を図るため人事異動等を実施した。
・定年退職者<平成28年3月31日>八代市社会福祉事業団 事務局長 沖田 芳治 氏
・新規採用者<平成28年4月1日> 八代市社会福祉事業団 主 事 森崎 麻美 氏
八代市社会福祉事業団 主 事 松崎 かなえ 氏
- 10. 寄附関係 ・平成27年 6月15日 円応教八代教会様より 121,142円（のぞみ母子センターへ寄附）
・平成27年12月17日 市婦人会連絡協議会様より 20,000円（希望の里たいようへ寄附）
・平成28年 3月10日 熊本県信用組合協会様より 221,823円（のぞみ母子センターへ寄附）
- 11. 行事实施表・・・・・・別表1

12. 受託施設等の運営事業状況

		ページ
(1) 老人福祉施設 養護老人ホーム（入所）	保 寿 寮・・・・・・	別途資料 24～35 参照
(2) 障害児通所支援事業所・ 八代圏域地域療育センター事業	八代市のぞみ母子センター・・・・・・	別途資料 36～46 参照
(3) 共同生活援助事業	グループホームおおぞら荘・・・・・・	別途資料 47～55 参照
(4) 障がい福祉サービス事業所	八代市立希望の里たいよう・・・・・・	別途資料 56～68 参照
(5) 相談支援事業	相談支援事業所たいよう・・・・・・	別途資料 14～17 参照

平成 27 年度 行 事 実 施 表

月 別	内 容
H27. 4	1. 第 1 四半期委託料 1. 辞令交付 (昇格・定期昇給他) 7. 不在者投票立会 (保寿寮) 16. 認定審査会委嘱状交付式 21. 給与支払 23. 定例施設長会 (たいう) 23. 保健指導 23. 人事評価勉強会 (社労士会) 30. 税理士監査 (決算)
5	7. 施設長・庶務担当者会議 (たいう) 13. 事業団監事会 15. 臨時施設長会 (たいう) 21. 給与支払 22. 事業団理事会 25. 定例施設長会 (たいう) 28. 八代市社会福祉協議会評議員会
6	1. 人権問題啓発推進協議会総会 2. 税理士監査 (新会計基準移行) 8. 熊本県指導監査説明会 18. 社会保険事務説明会 19. 給与支払 24. 税理士月次監査 25. 定例施設長会 (たいう) 30. 期末勤勉手当支給
7	1. 第 2 四半期委託料 2. 事業団理事会 2. 事業団評議員会 4. いきいきふくしスポーツ大会参加 8. 訪問調査 (熊本学園大学) 10. 全事協九州ブロック会議 21. 給与支払 21. 税理士月次監査 24. 定例施設長会 (たいう) 24. 事業団職員研修 (たいう) 28. 安管協分会合同会議
8	18. 公正採用選考人権・同和問題啓発推進員研修会 21. 給与支払 24. 定例施設長会 (たいう) 26. 県社協退職共済事業事務説明会 27. 事業団職員研修 (たいう) 28. 臨時施設長会 (たいう)
9	2. 税理士月次監査 9. 健康・年金委員実務研修 18. 給与支払 24. 定例施設長会 (たいう) 28. 庶務担当者会議 (内部監査) 28. 苦情解決第三者委員会 29. 県内事業団事務職員研修会 30. 八代市ふれあいフェスタ会議
10	1. 第 3 四半期委託料 8. 管理者研修 8. マイナンバー研修会 9. 八代市社会福祉協議会評議員会 14. 安全運転管理者等講習 16. 臨時施設長会 (たいう) 18. 職員採用試験 21. 給与支払 23. 八代市指定管理者選定委員会 23. 社会保険調査 26. 定例施設長会 (たいう)
11	6. 八代市ふれあいフェスタ準備 7. 八代市ふれあいフェスタ参加 12. 年末調整説明会 14. 第 7 回たいう祭参加 17. 事業団評議員会 18. 臨時施設長会 (たいう) 20. 給与支払 22. 職員採用試験 26. 定例施設長会 (たいう) 9~12. 事業団職員健康診断の実施
12	10. 期末勤勉手当支給 14. 退職共済制度実務研修 21. 給与支払 21. 税理士監査 (年調) 24. 定例施設長会 (たいう) 24. 事業団理事会 28. 年末調整支給 28. 事業団仕事納め式 (たいう) 28. 事業団永年勤続表彰 (たいう)
H28. 1	4. 事業団職員仕事始め式 (たいう) 4. 第 4 四半期委託料 15. 高年齢者雇用アドバイザー訪問 20. 税理士監査 (給与支払報告) 21. 給与支払 28. 定例施設長会 (たいう)
2	4. 臨時施設長会 (たいう) 社労士会 18. 税理士月次監査 19. 給与支払 24. 年金委員実務研修会 24. 定例施設長会 (たいう) 25. 一般労働条件の確保改善にかかる講習会 26. 庶務担当者会議 (内部監査) 26. 特定個人情報研修会 (社労士会) 18・19・22・23. 事業団職員健康診断の実施
3	16. 臨時施設長会 (たいう) 18. 給与支払 25. 事業団理事会 25. 事業団評議員会 25. 定例施設長会 (たいう) 25. 税理士監査 (新会計基準決算) 31. 退職辞令交付式

指定相談支援事業所たひよう事業報告書

(1) 設置目的

地域の障がい者等の福祉に関する各般の問題につき、障がい者等や家族等からの相談に応じ、必要な情報提供や助言、障がい福祉サービスの利用支援及び地域相談支援等を行うと共に関係機関や福祉サービス提供事業者と連絡調整や権利擁護のために必要な援助を行い、その他の便宜を総合的に供与し、障がい者（児）が安心して地域生活が営むことができるように支援することを目的とする。

(2) 設 置 社会福祉法人 八代市社会福祉事業団

(3) 所 在 地 八代市麦島東町9-7 リバーサイドビル3-A

※平成28年度より、八代市日奈久平成町1-1 養護老人ホーム 保寿寮内移転。

(4) 事業開始年月日 平成27年4月1日

(5) 実施事業内容

1. 指定一般相談支援事業・・・平成27年度につきましては実施なし（該当者なし）

①地域移行支援

障害者支援施設等に入所している障害者又は精神科病院等に入院している精神障害者につき、住居の確保その他の地域における生活に移行するための活動に関する相談その他の必要な支援を行う。

対 象

ア 障害者支援施設、のぞみの園又は療養介護を行う病院に入所している障害者。

※児童福祉施設に入所する18歳以上の者、障害者支援施設等に入所する15歳以上の障害者みなしの者も対象

イ 精神科病院等に入院している精神障害者。

※入院期間が1年以上の者

※入院期間が1年未満である者であっても措置入院や医療保護入院者で住居の確保などの支援を必要とする者や、地域移行支援を行わなければ入院の長期化見込まれる者についても対象

②地域定着支援

居宅において単身等で生活する障害者につき、常時の連絡体制を確保し、障害の特性に起因して生じた緊急の事態等に相談その他必要な支援を行う。

対 象

ア 居宅において単身であるため緊急時の支援が見込めない状況にある者

イ 居宅において家族と同居している障害者であっても、当該家族等が障害、疾病等のため、障害者に対し、当該家族等による緊急時の支援が見込めない状況にある者

③基本相談支援

地域の障害者等の福祉に関する各般の問題につき、障害者等、障害児の保護者又は障害者等の介護を行う者からの相談に応じる。

2. 指定特定相談支援事業・指定障害児相談支援事業

- ① 障害福祉サービスの申請若しくは変更の申請に係る障がい者若しくは障がい児の保護者又は地域相談支援の申請に係る障がい者の心身の状況、その置かれている環境、サービスの利用に関する意向その他の事情を勘案し、利用する障害福祉サービス又地域相談支援の種類及び内容等を記載したサービス等利用計画案を作成する。

「サービス等利用計画案等の記載事項」

- ア 利用者及びその家族の生活に対する意向
- イ 総合的な援助の方針
- ウ 生活全般の解決すべき課題
- エ 提供される福祉サービス等の目標及びその達成時期
- オ 福祉サービス等の種類、内容、量
- カ 福祉サービス等を提供する上での留意事項
- キ モニタリング期間

- ② 支給決定若しくは支給決定の変更の決定後に、指定障害福祉サービス事業者、指定一般相談支援事業者との連絡調整等の便宜を供与するとともに、支給決定又は地域相談支援給付決定に係るサービスの種類及び内容、担当者等を記載した「サービス等利用計画」を作成する。

「サービス等利用計画等の記載事項」

サービス等利用計画案の内容に加え、次の事項を追加。

- ア 福祉サービス等の利用料
- イ 福祉サービス等の担当者

対象者

- ア 計画相談支援

障害福祉サービスの申請若しくは変更の申請に係る障害者若しくは障害児の保護者又は地域相談支援の申請に係る障害者。

- イ 障害児相談支援

障害児通所支援の申請若しくは変更の申請に係る障害児の保護者。

③継続サービス利用支援及び継続障害児支援利用援助

支給決定障害者等が、支給決定の有効期間内において、サービス等利用計画又は障害児支援利用計画が適切であるかどうかにつき、モニタリング期間ごとに、障害福祉サービス等の利用状況を検証し、その結果及び心身の状況、その置かれている環境、サービスの利用に関する意向その他の事情を勘案し、「サービス等利用計画」の見直しを行い、その結果に基づき次のいずれかの便宜を供与する。

ア「サービス等利用計画」を変更するとともに、関係者との連絡調整等を行う。

イ 新たな支給決定若しくは支給決定の変更の決定又は地域相談支援給付決定が必要と認められる場合において、当該支給決定障害者等又は地域相談支援給付決定障害者に対し、当該申請の勧奨を行う。

対象者

指定特定相談支援事業者が提供したサービス利用支援により「サービス等利用計画」が作成された支給決定障害者等又は地域相談支援給付決定障害者。

④基本相談支援

地域の障害者等の福祉に関する各般の問題につき、障害者等、障害児の保護者又は障害者等の介護を行う者からの相談に応じる。

(6) 資質向上

- ①八代市障がい者支援協議会相談支援部会への参加。(事例検討など勉強会)
- ②熊本県県南地域相談支援事業所連絡協議会への参加。(事例検討など勉強会)
- ③熊本県相談支援従事者初任者研修の受講。

(7) 関係機関等との連携

- ①利用者並びにご家族との面会、連絡を密に図り、②に記載している機関等への協力体制を実施するため、利用者を中心としたネットワーク作りに努めました。
- ②八代市担当課並びに保健師、福祉事務所、熊本県、担当地域振興局、社会福祉協議会、障がい者(児)事業所、医療機関、職業安定所、支援学校等、民生児童委員、障がい者相談員等との連携に努めました。

(8) 利用者数(契約者数)

対象者	平成27年度利用者数	利用者実数(累計)
障がい者	27名	27名
障がい児	6名	6名
計	33名	33名

(9) 実施支援数

①訪問相談	33件	④個別支援会議	33件
②来所相談	33件	⑤関係機関との調整	15件
③電話相談	132件	⑥同行・その他	15件

(10) 計画相談支援・障がい児相談支援

計画相談支援			
契約者	サービス等利用計画	サービス等利用計画 継続	モニタリング
27名	26件	0件	23件

障がい児計画相談支援			
契約者	サービス等利用計画	サービス等利用計画 継続	モニタリング
6名	6件	0件	10件

老人福祉施設 養護老人ホーム 保 寿 寮

1. 施設理念

敬愛の心で入所者の生活を支えます。

2. 基本方針

- ・入所者の人格を尊重し、思いやりの心と笑顔で接します。
- ・安全で安心な生活環境を提供します。
- ・それぞれの能力にあった支援を計画的に行います。
- ・開かれた施設・地域に根ざした施設を目指します。
- ・職員は資質向上を目指し、常に努力します。

3. 処遇方針体系（別紙資料1）

4. 入所者の状況

平成27年4月1日現在

	入所者数			
		男	女	合計
入所状況	市内	17	32	49
	市外	1	0	1
	合計	18	32	50
平均年齢		77.6	84.6	82.2
最高年齢		90	97	—
最低年齢		65	71	—

市外入所者内訳（宇城市1名）

平成28年3月31日現在

	入所者数			
		男	女	合計
入所状況	市内	16	33	49
	市外	1	0	1
	合計	17	33	50
平均年齢		78.2	84.2	82.0
最高年齢		91	98	—
最低年齢		66	66	—

市外入所者内訳（宇城市1名）

5. 年齢別入所状況

平成27年4月1日現在

	59歳以下	60～64	65～69	70～74	75～79	80～84	85～89	90～94	95歳以上	合計
男	0	0	1	5	5	3	2	1	0	17
女	0	0	0	2	9	4	8	7	3	33
合計	0	0	1	7	14	7	10	8	3	50

平成28年3月31日現在

	59歳以下	60～64	65～69	70～74	75～79	80～84	85～89	90～94	95歳以上	合計
男	0	0	1	3	8	2	3	1	0	18
女	0	0	1	2	4	8	9	7	1	32
合計	0	0	2	5	12	10	12	8	1	50

6. ショートステイ利用状況

- 利用者 5名(男2名、女3名)
 ・理由・・・虐待、家庭の都合等
 ・延べ日数・・・163日

7. 外部介護サービス利用状況

- ・サービス内容：通所介護事業所（デイサービスセンター）利用
 平成27年4月1日現在 合計15名
 （要支援4名、要介護者11名）

	利用者数
男	4
女	8
合計	12

- 平成28年3月31日現在 合計16名
 （要支援3名、要介護者13名）

	利用者数
男	6
女	8
合計	14

8. 障害者加算認定対象者増減状況

- 平成27年4月1日現在
 （身障2名、知的3名、精神2名）
 医療的診断書10名)

	対象者数
男	8
女	9
合計	17

- 平成28年3月31日現在
 （身障3名、知的2名、精神3名）
 医療的診断書10名)

	対象者数
男	8
女	10
合計	18

9. 職員の配置状況

平成27年4月1日現在

職 種	人数
施設長	1
事務員	1
栄養士（嘱託）	1
看護師	1
主任生活相談員	1
生活相談員	1
主任支援員	1
支援員	2
支援員（嘱託）	1
支援員（臨時）	1
嘱託医	1
合計	12

平成28年3月31日現在

職 種	人数
施設長	1
事務員	1
栄養士（臨時）	1
看護師	1
主任生活相談員	1
生活相談員	1
主任支援員	1
支援員	2
支援員（嘱託）	1
支援員（臨時）	1
嘱託医	1
合計	12

10. 施設整備状況

日付	整備箇所	整備理由	金額
4/13	居室トイレ配管修理工事	トイレタンクの付け根が折れ水浸しになった為。	24,840 円
5/14	事務室ブラインド、調理室畳交換工事	事務室のブラインドと調理室の畳が老朽化した為。	60,500 円
6/3	厨房ドレン改修工事	エアコンドレンの水が排水溝に流れなくなった為。	27,000 円
6/22	厨房エアコン点検修理	リモコンの基盤交換が必要になった為。	116,316 円
6/25	ボイラー循環ポンプバルブ交換工事	循環ポンプ(2基中1基)のバルブ交換(錆付着)が必要になった為。	216,000 円
7/18	生ゴミ処理機スイッチ修理工事	自動スイッチが作動しなくなった為。	6,500 円
7/21	中央トイレ巾木部補修工事	中央トイレ巾木部が腐食により穴が開いた為。	35,100 円
8/5	厨房スチールドア修理一式	厨房スチールドアの開閉が困難になった為。	45,360 円
8/8	ボイラー循環ポンプバルブ交換一式	循環ポンプ(2基中1基)のバルブ交換(錆付着)が必要になった為。	216,000 円
8/27	生ゴミ処理機修理一式	台風の影響で漏電防止に異常が発生した為。	12,960 円
8/27	昇降機基盤取替修理一式	支援員室床下の給水管から水漏れが発生した為。	125,280 円
9/5	調理室エアコン修理一式	厨房内のエアコンから異音が聞こえてきた為。	44,928 円
10/19	誘導灯バッテリー交換	誘導灯のバッテリー無くなった為。	5,400 円
10/20	台風災害によるタキロン張替他修理工事	台風で被害にあった為。	294,000 円
10/23	身障用トイレ他修理工事	自動排水スイッチ効かず水が止まらなくなった為。	21,276 円
12/14	居室エアコン修理一式	居室内のエアコンの暖風が出なくなった為。	36,720 円
12/25	厨房換気口改修工事	厨房換気口が落下した為。	27,000 円
1/14	浴室水栓取替修理工事	浴室の蛇口元から水が漏れて止まらなくなった為。	84,240 円
1/14	居室アルミサッシ調整	居室アルミサッシの開閉が出来なくなった為。	32,400 円
1/20	生ゴミ処理機漏水修理	生ゴミ処理機の給水管から水漏れが発生した為。	19,500 円
2/21	消防設備点検不良箇所修理工事	消防設備点検で廊下通路誘導灯の不良箇所があり復旧の必要があった為。	194,400 円
3/8	浴場排水溝ワントラップ交換	浴室の排水溝のワントラップが破損した為。	16,200 円
3/11	応接室 LED 取替工事	相談支援事業所移転に伴う。	35,424 円
3/22	応接室絨毯等取替工事	相談支援事業所移転に伴う。	97,780 円
3/25	中央玄関ガラス交換工事	中央玄関の木製ガラスが割れて危険な状態になった為。	88,560 円
整備合計金額：1,883,684円			

11. 平成27年度保寿寮入所者異動表

①. 在籍者数（月初現在）

単位：人

月別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
在籍者数	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50

②. 入退所異動者

(1) 入所

月/日	氏名(男女別)	入所前在籍先
6/1	K・U (女)	在宅
7/7	E・Y (女)	在宅
7/17	Y・S (女)	在宅
7/18	H・S (女)	在宅
11/30	T・T (女)	在宅
12/24	H・T (男)	八代更生病院
1/28	S・O (女)	八代更生病院
3/31	K・M (女)	ハピネスケア日南

(2) 退所

月/日	氏名(男女別)	異動先
5/22	S・Y (女)	アメニティゆうりん
7/6	M・M (女)	熊本総合病院
7/9	M・O (女)	ハピネスケア日南
7/14	M・I (女)	入院死亡
11/16	H・N (女)	アメニティゆうりん
12/7	H・S (女)	八代更生病院
1/7	K・M (女)	みなみ園
3/11	S・I (女)	ハピネスケア日南

12. 事故報告件数

平成27年度件数 31件

(内訳)

- ①転倒（屋内） 21件
- ②転倒（屋外） 0件
- ③誤嚥（食事） 0件
- ④服薬（誤飲） 1件
- ⑤無断外出 1件
- ⑥救急医療 5件
- ⑦その他 3件

※職員会議にて報告・検討

13. 苦情相談件数

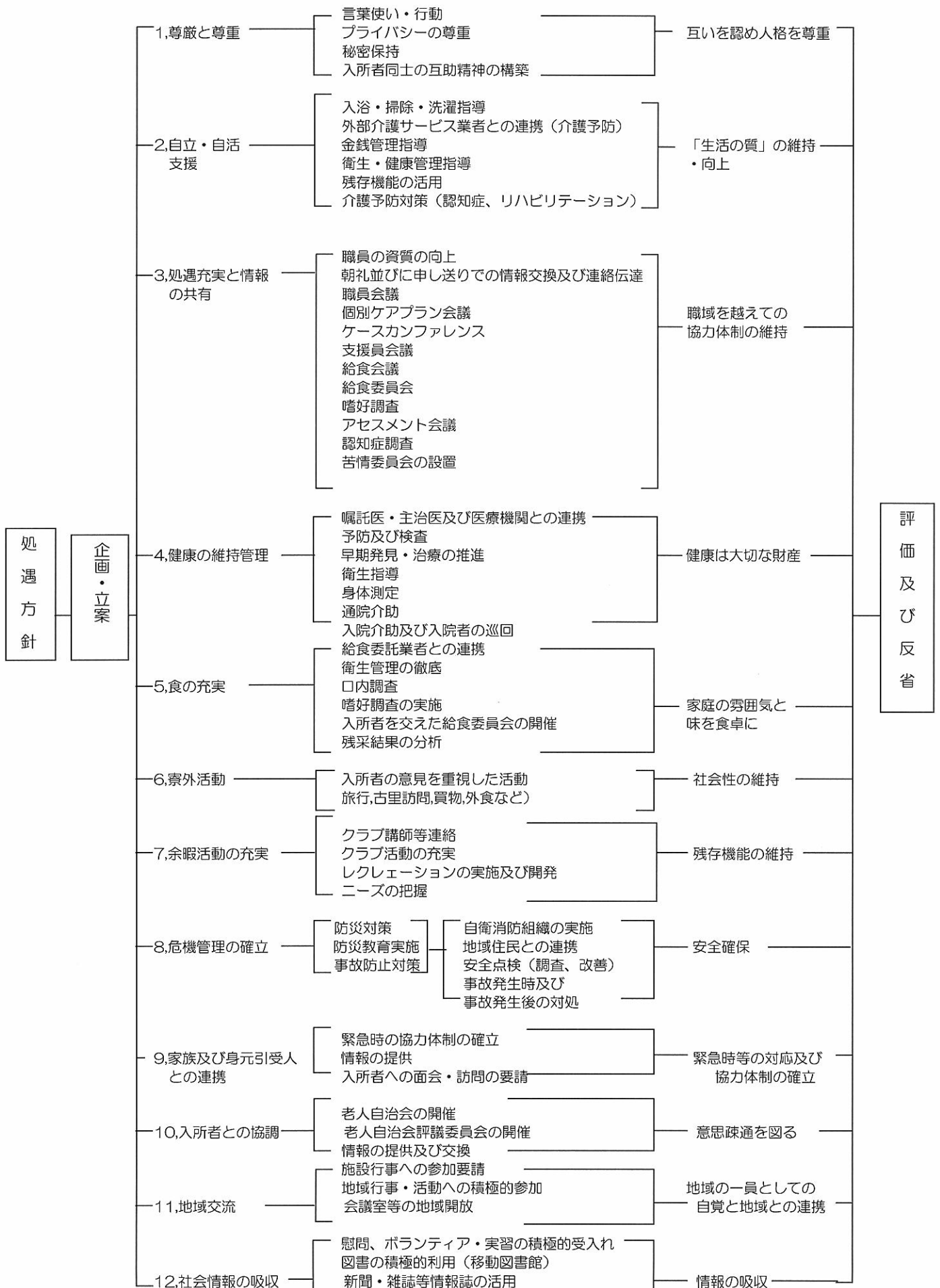
平成27年度件数 16件（内：未解決0件）

(内訳)

- ①他入所者とのトラブル（暴力・暴言等） 3件
- ②被害妄想と思われるもの（居室侵入等） 2件
- ③職員の対応等に対するもの 2件
- ④身元・地域・事業所等外部からの
苦情相談 1件
- ⑤その他 8件

※朝礼・終礼時にて報告・検討

処遇方針体系



行 事 実 施 表

月別	月 例 行 事	寮 内 行 事	健 康 衛 生	地域交流・慰問 関係・その他
4	<ul style="list-style-type: none"> ・自治会 ・職員会議 ・ケアプラン会議 ・アセスメント会議 	鯉のぼり作成・展示、 預貯金報告、 全体レクリエーション、 不在者投票(熊本県議員)	介護訪問調査、 感染症対策委員会	瑞峰流慰問 日奈久小学校入学式 ショート利用1名
5	<ul style="list-style-type: none"> ・理髪 ・体調測定 ・誕生会 	寮内草取り、菖蒲風呂、 防火避難訓練、和みの会	認知症調査、 介護訪問調査	八代ボランティア紫会慰問 日奈久小中合同運動会見学
6	<ul style="list-style-type: none"> ・コーヒータ임 ・特別メニュー食(月1回) ・買物日 	氷室祭参拝、 苗植え(から芋)、 余暇活動(阿蘇方面)	介護訪問調査、保健衛生指 導、給食委員会、エアコン 清掃、水質検査(温泉水) 室内消毒	日奈久小4年生交流会
7		七夕、預貯金報告	検尿、健康診断(心電図・ 一般採血・レントゲン)、介護 訪問調査、 感染症対策委員会	日奈久小4年生交流会 日奈久老人会交流会 ショート利用1名
8		盆用品買物、仏壇磨き、 盆供養法話、和みの会	嗜好・口内調査、介護訪問 調査、ガラス清掃、換気 扇・トイレ排水溝掃除、 布団クリーニング	ショート利用1名
9		敬老会、彼岸供養法話、 寮内草取り・片付け、 余暇活動(天草方面)	給食委員会、介護訪問調 査、施設内外安全点検、 貯水槽清掃、給食委員会	八代市盲人福祉協議会慰問 ショート利用1名
10		寮内草取り、芋掘り、預貯 金報告、交通安全教室(市 役所)、余暇活動(天草方 面、ミカン狩り)	介護訪問調査、インフルエ ンザ予防注射、嗜好調査、 浄化槽清掃、ワックス清掃	ショート利用3名
11		余暇活動(水前寺方面)、 ふれあいフェスタ見学、妙 見祭見学、防災避難訓練	介護訪問調査、エアコン清 掃、室内消毒、感染症対策 委員会	日奈久小学校発表会 花馬来寮、ふれあいフェスタ 出展、さくら善友会慰問 ショート利用2名
12		忘年会、正月用品買物、大 掃除、ゆず風呂、寮内樹木 剪定	保健衛生指導、介護訪問調 査、ガラス清掃、給食委員 会、水道水法定検査	日奈久小4年生交流会、 八代地域婦人会慰問
1		若風呂、初詣、 預貯金報告、どんどや、 和みの会	感染症対策委員会、給食委 員会、地下タンク漏洩検査	入所者状況調査
2		豆まき 全体レクリエーション 余暇活動	食事摂取調査、給湯器洗浄 健康診断(心電図・一般採 血・検尿)	代陽校区福推協議会慰問
3		彼岸供養、花見 不在者投票(熊本県知事)	給食委員会	日奈久老人会交流会 二見中央保育園慰問 さくら善友会慰問 ショート利用1名

※ケースカンファレンス(随時実施) ※預貯金払出(毎月1回・随時) ※入浴(月・水・金) ※移動図書(毎月1回)

※クラブ活動

・生 花・毎月1回(8名) ・詩 吟・毎月2回(9名) ・書 道・毎月2回(10名) ・音 楽・毎月2回(希望者)
・園 芸・随時活動(希望者) ・カラオケ・随時活動(希望者)

※ワックス清掃(年1回)

※冷暖房機・空調機清掃(年2回)

※ガラス清掃(年2回)

※害虫消毒(毎月)

※室内消毒(年2回)

※各種施設点検(随時)

平成 27 年度 障害児通所支援事業所 八代市のぞみ母子センター 事業報告書

1、設置目的

児童発達支援

児童福祉法に規定する指定障害児通所支援事業所の趣旨に基づく、通所給付を受けた障害児に対し、日常生活における基本的動作及び知的技能を習得し、並びに集団生活に適応できるよう、適切かつ効果的な指導及び訓練を行うことを目的とします。

放課後等デイサービス

児童福祉法に規定する指定障害児通所支援事業所の趣旨に基づく、通所給付を受けた障害児に対し、生活能力の向上のために必要な訓練を行い、及び社会との交流を図ることができるよう、適切かつ効果的な指導及び訓練を行うことを目的とします。

2、利用登録者(障害別・年齢別)

児童発達支援事業 H28.3

種別	計
肢体不自由児	2
自閉的傾向児	26
ダウン症児	1
知的障害児	7
難聴児	1
未診断	18
未受診	3
計	58

	男	女	計
年長児	18	0	18
年中児	12	3	15
年少児	7	8	15
0.1.2 歳	7	3	10
計	44	14	58

放課後等デイサービス H28.3

種別	計
肢体不自由児	4
自閉的傾向児	31
ダウン症児	0
知的障害児	2
未診断	1
未受診	0
計	38

	男	女	計
1 年生	6	3	9
2 年生	9	3	12
3 年生	6	1	7
4 年生	3	1	4
5 年生	1	0	1
6 年生	3	1	4
中学生	1	0	1
計	29	9	38

3、療育の内容

児童発達支援事業

1) 年齢別クラス

- ・活動 月・火・水・木・金は 8 時 30 分～12 時 30 分、火・水・金は 13 時 30 分～17 時 30 分年齢別クラスで支援を実施。
- ・対象児 年齢別(年長、年中、年少、0、1、2 歳児)の各 10 名程度の子どもと保護者。
- ・目的 小集団の活動を通して、日常生活や社会生活に適応できるような、運動能力、認知理解、コミュニケーション能力を促す。また、保護者のいろいろな「困りごと」に対応。
- ・個別的指導 1 日一定時間以上の個別的指導を実施。

2) 身辺自立クラス

- ・活動 月曜日から金曜日までの間(所要時間:1 時間 30 分)支援を実施。
- ・対象児 身辺面において「自立」に専門的な支援が必要とおもわれる子ども。
- ・目的 「自分のことは自分で」の意識を育てることで人との関わりで大切なマナーを知ることを目的とし、子どもとその保護者に分かりやすい手順や場所の環境設定を指導。

3) 土曜日療育

- ・活動 第 2 土曜日(療育時間:8 時 30 分～14 時 30 分)支援を実施。
- ・対象児 就学前又は就学児童の 10 名程度の子ども。
- ・目的 自分のことは自分でを行い、保護者以外の人と関わる経験を積み、異年齢の子どもと関わる機会を作る。

放課後等デイサービス事業

- ・活動 月曜日から金曜日まで支援を実施。
- ・対象児 就学児童の 10 名程度の児童とその保護者。
- ・目的 生活能力の向上のために必要な訓練を行い、また、社会との交流を図ることができるよう、指導及び訓練を行う。

一週間の流れ

曜日 時間	月	火	水	木	金	第 2 土
8:30～12:30	年中児 1	年中児 2	年少児 1	年少児 2	0.1,2 歳児	8:30～14:30 ・放課後等デイ ・身辺自立
13:30～17:30	身辺自立 放課後等デイ	年長児 1 放課後等デイ	年長児 2 放課後等デイ	身辺自立 放課後等デイ	年長児 1 放課後等デイ	

4、八代圏地域療育センターからの支援

(理学療法士・作業療法士・心理士・言語聴覚士)

- ① 療育相談
- ② 勉強会

※ 八代圏地域療育センターと連携を図り、利用者のニーズに沿った専門性の高い支援を受けた。

5、利用状況

区分	開所 日数	児童発達支援			放課後デイ			月間 人数	一日 平均 人数	前年度 一日平均 人数	内 容	保 護 者 会
		利用 実人数	延べ 人数	欠席 人数	利用 実人数	延べ 人数	欠席 人数					
H27 4月	日 21	38	91	14	33	116	15	207	9.9	8.5	18 体操教室 27 支援日程調整会議	17, 20 特別支援教育 就学説明会
5	19	40	95	11	34	109	10	204	10.7	10.2	11 消防点検 25 スタッフ勉強会（森田ST） 30 体操教室	年長児学校見学
6	23	43	127	21	31	120	7	247	10.7	9.9	2 八代支援学校体験デー 20 おもちゃ作り教室 26 通所支援事業所連携会議	年長児学校見学 就学相談
7	23	50	143	25	33	113	11	256	11.1	11.2	25 体操教室 （園訪問・支援会議）	年長児学校見学 就学相談
8	22	53	121	26	33	107	10	228	10.4	10.9	8 体操教室 10 工藤作業療法士支援	
9	20	49	120	24	35	105	16	225	11.3	11.7	26 体操教室 29-30 相談支援従事者初任者研修	年長児学校見学 就学相談
10	22	51	134	23	34	115	8	249	11.3	10.1	20 通所支援事業所連絡会議 28 消防総合訓練 31 体操教室	就学相談 22, 23 特別支援教育 就学説明会（年中）
11	22	48	121	26	32	93	11	214	9.7	11.2	3, 10 食育療育 5 松橋支援学校水川分教室見学 28 体操教室	
12	20	45	128	18	31	86	7	214	10.7	10.6	1, 8 強度行動障害実践研修 1, 2, 4 バス乗車体験 8 体操教室 10 満永作業療法士支援 17 工藤作業療法士、森田心理士支援 21 マイナンバー勉強会 25 合同行事・音楽療法	25 合同行事
H28 1	19	46	110	36	28	75	8	185	9.7	9.8	21 通所支援事業所連携会議	27 八代圏域 保護者交流会
2	21	49	128	30	30	98	10	226	10.8	10.9	25 食育相談事業報告会	
3	23	50	126	20	31	98	14	224	9.7	10.4	4 体操教室（0, 1, 2, 3歳児） 9 消防総合訓練 12 体操教室 30 おもちゃ作り教室	4 八代圏域 保護者交流会
計	255		1444	274		1235	127	2679	10.5	10.4		

6、評価 ○母子療育を基本とし、よりよい家族関係が育つよう支援した。また、子どもの心身の状況、その置かれている環境等の的確な把握に努め、相談・助言・援助に心がけた。

○障害児相談支援事業者が行う連絡調整にできる限り協力し、発達を支援する上での支援内容を検討した。

平成 27 年度八代圏域地域療育センター事業報告書

平成 28 年 3 月末現在

1. 療育相談員設置事業について

(1) 療育相談員 2 名設置

2. 療育三事業について

(1) 在宅支援訪問療育等指導事業

●相談を受けたおもな内容

- ・発達相談や児の特性理解

(ことばの遅れ、感覚・運動機能、神経症・心身症、吃音、発音、パニックや切りかえの悪さなどの問題行動、身辺自立、構造化 など)

- ・関わり方
- ・ケース会議 (園・学校にて)
- ・療育について (情報提供、見学)
- ・医療受診について
- ・学校について (就学先検討、見学、転校など)
- ・保育園について (入園、転園など)

●在宅障害児等に対し、訪問の方法により、各種の相談・指導を行った件数。

相 談 件 数		乳幼児	学齢児
		55	12
※相談に関わったスタッフ及び関係機関			
当センター 専門スタッフ支援	理学療法士	2	0
	作業療法士	5	0
	心 理 士	3	0
保 健 師		50	0
相談支援事業所		2	1
通所支援事業所		1	0

●各種の相談・指導後の繋ぎの件数。

医療機関紹介	16
療育機関紹介	7
専門スタッフ評価	15
就学相談	1
相談があれば対応する	30

(2) 在宅支援外来療育等指導事業

●相談を受けたおもな内容

- ・専門職による発達相談、発達検査、各種評価、目標設定や関わり方
- ・発音、吃音について
- ・療育について
- ・医療受診について
- ・保育園について（入園、転園など）
- ・就学相談（学校教育課と連携）
- ・福祉サービス、福祉機器について
- ・登園、登校しぶりについて
- ・転入、転出に関する情報提供
- ・保護者自身の受診、カウンセリングについて
- ・ペアレント外来～親子関係のトレーニング～

●在宅障害児等に対し、外来の方法により、各種の相談・指導を行った件数。

相談件数		乳幼児	学齢児
		116	58
※相談に関わったスタッフ及び関係機関			
当センター 専門スタッフ支援	理学療法士	4	0
	作業療法士	21	0
	心 理 士	34	3
保 健 師		82	2
学校教育課		5	0
相談支援事業所		2	0
通所支援事業所		1	1

● 各種の相談・指導後の繋ぎの件数。

医療機関紹介	46
療育機関紹介	16
専門スタッフ評価	17
就学相談	2
通所支援事業所見学	1
相談があれば対応する	100

(3) 施設支援一般指導事業

●相談を受けたおもな内容

- ・発達相談と児の特性理解と関わり方
- ・保護者への働きかけ方や対応

- ・クラス全体のまとめ方
- ・個別支援計画について
- ・肢体不自由児の姿勢について

●児童発達支援事業、障害児保育を行う保育所等の職員に対し、在宅障害児等の療育に関する技術の指導を行った件数。

		保育園		幼稚園		その他	小・中学校	事業所
		公立	私立	公立	私立			
相談件数	実施施設	11	27	5	2	1	4	3
	延べ施設	55	84	7	6	1	4	7
※相談に関わったスタッフ及び関係機関								
当センター 専門スタッフ	理学療法士	2	2	0	0	0	0	0
	作業療法士	3	5	0	1	0	0	0
保健師		63	149	13	4	1	1	1
相談支援事業所		1	3	0	0	0	0	0
通所支援事業所		0	1	0	1	0	0	0

3. その他

- (1) 熊本県こども療育センターとの連携
 - ・療育拠点施設事業における地域支援
- (2) 県教育事務所との連携
 - ・八代地域特別支援連携協議会
 - ・八代地域特別支援教育指導力向上研修
 - ・八代地域特別支援教育相談会
- (3) 八代市学校教育課との連携
 - ・八代市特別支援連携協議会就学指導委員会
 - ・八代市特別支援教育体制推進事業での専門委員としての役割
 - ・就学説明会
- (4) 氷川町学校教育課との連携
 - ・氷川町就学指導委員会
- (5) 八代圏域通所支援事業所との連携
 - ・連絡会議及び合同勉強会
- (6) 八代市障がい者支援協議会
- (7) 地域の保護者会への支援
- (8) 氷川町5歳児健診
- (9) ペアレントメンター
 - ・コーディネーター養成研修、会議、フォローアップ研修

平成27年度 共同生活援助事業 グループホームおおぞら荘 事業報告書

1. 設置目的

就労し又は就労継続支援等の日中活動を行っている利用者(知的障害者・精神障害者)に対して、地域において共同して自立した日常生活ができるよう必要な支援を行うことを目的とする。

- (1)設置者 社会福祉法人 八代市社会福祉事業団
- (2)ホーム名称 グループホームおおぞら荘
- (3)ホーム所在地 八代市麦島東町4号8番地・12番地
- (4)事業開始年月日 平成21年6月1日
- (5)定員 6(男3・女3)

2. 入居者状況(平成28年3月31日現在)

(1)定員6(男3・女3)

事業名	月別	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
助 地 事 域 業 生 活 活 援 援	入居者	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6
	入居	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	退居	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

(2)性別

男女別	人数	計
男	3	3
女	3	3
計	6	6

(3)市町村別

市町村名	男	女	計
八代市	3	3	6
計	3	3	6

(4)平均年齢

性別	総年齢	平均年齢
男	128歳	43歳
女	185歳	62歳
計	313歳	52歳

(5)障害種別

性別	知的	精神	計
男	3	0	3
女	3	0	3
計	6	0	6

(6)年齢別

性別	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～60歳	61歳以上	計
男	0	1	2	0	0	3
女	0	0	0	1	2	3
計	0	1	2	1	2	6

3. 対象者

対象者	対象者像
知的障害者・ 精神障害者	健康で就労し又は就労継続支援等の日中活動を利用している知的障害者・精神障害者

4. 職員配置

管理者	サービス管理責任者	世話人
1	1	4(4対1)

5. 支援内容

(1)日常生活支援

- ①居室清掃支援
- ②入浴への支援
- ③衣服の洗濯及び衣服の整理整頓への支援等
- ④買物への支援
- ⑤衣服の着脱への支援

(2)共同生活支援

- ①浴室清掃支援
- ②地域清掃支援
- ③食前の準備、食後の後片付け及び食器洗い等への支援
- ④余興の過ごし方への支援

(3)健康管理支援

- ①検温への支援
- ②薬の服用への支援
- ③歯磨き支援(食後)
- ④春～夏場において、健康作りで20分程度公園等で徒歩を行った。
- ⑤希望の里たいようと連携を取りながら対応した。

6. 支援計画

支援については、サービス管理責任者が、個別支援計画の原案の内容について、入居者又はその家族に対して説明し、文書により入居者の同意を得ることとし、個別支援計画を作成した際は、入居者へ交付し支援にあたってきた。

この個別支援計画は6ヵ月に1回以上定期的に個別支援計画の見直しを行い、必要に応じて、個別支援計画の変更を行ってきた。

7. 地域との交流(地域貢献)

毎月、グループホームおおぞら荘周辺の地域清掃(空き缶拾い、ごみ拾い)を行った。

8. 支援結果(まとめ)

(1)日常生活支援

- ① 全員が挨拶等大きな声できるようになってきた。
- ② 自分自身できることは、自ら行うを基本にしてきた。(時々支援が必要)
- ③ 入居者各々が自分自身の居室については、掃除を行い清潔さを保った。(時々支援が必要)

(2)共同生活支援

- ①自由時間はテレビを見たり、買い物に出かける等楽しく過ごしていた。
- ②外出した場合ホームへの帰宅時間等も各々が守れた。
- ③お風呂の掃除、食前の配膳及び食後の後片付け(食器洗い)等もお互い協力し合い交替で行ってきた。
- ④毎月、地域の清掃(ごみ拾い、空き缶拾い)に入居者全員が積極的に行った。
- ⑤毎月、避難訓練の実施

(3)健康管理支援

- ① ホームへの帰宅後は手洗いうがいの励行に努めた。
- ② 毎朝、自ら検温を行い健康管理に努めた。
- ③ 体調が悪い時には、自ら申し出があり、世話人の方で対応してきた。
- ④ 春から夏場にかけて入居者全員が体力づくり及び健康維持の目的で楽しく、散歩を行った。

(4)日中活動等への参加状況

就労場所	実 員	事業名	作業種目			
			買物かご	公園作業	パン製造	印刷
八代市立希望の里 たいよう	(男2・女3)	就労移行支援事業				
		就労継続支援B型事業	1	2	1	1
有限会社ホープクリ ーニング八代工場	(男1名)	八代市海士江町2332-4	1			
地域移行	該当者無					

病気以外は休むことなく日中活動への参加を楽しみにしている。

平成 27 年 度 行 事 実 施 表

(グループホームおおぞら荘)

月別	行事関係	防災対策	施設管理	交流	研修会関係
4	17 消防設備点検 25 地域清掃	25 避難訓練	21 世話人会議		
5	23 地域清掃 28 家族会 30 すまいるフェスタ2015参加	23 避難訓練	20 世話人会議		
6	3,5 特定健診 27 地域清掃	27 避難訓練	23 世話人会議		
7	4 いきいきふくスポーツ大会 23 八代港客船見学 25 地域清掃	25 避難訓練	22 世話人会議		
8	22 地域清掃 25 台風の為、たいよう休み 29 レクリエーション(ドライブ)	22 避難訓練	18 世話人会議		
9	17 誕生会 26 地域清掃 26 市民体育祭(フライングディスク)	26 避難訓練	17 世話人会議		
10	15 消防設備点検 23-24 利用者研修旅行(鹿児島) 31 地域清掃	31 避難訓練	22 世話人会議		
11	7 八代市ふれあいフェスタ参加 14 第7回たいよう祭参加 19 誕生会 28 地域清掃	28 避難訓練	20 世話人会議		
12	9 大相撲八代場所見学 19 誕生会、忘年会 29 大掃除	19 避難訓練	18 世話人会議		10 県障害者虐待防止・ 権利擁護研修会
H28. 1	28 レクリエーション(初詣) 25 大雪の為、たいよう休み 30 地域清掃	30 避難訓練	21 世話人会議		
2	23 交通安全教室 27 地域清掃	27 避難訓練	19 世話人会議		
3	4 誕生会 26 地域清掃 26 花見(麦島)	26 避難訓練	16 世話人会議		

平成27年度 障害福祉サービス事業所 八代市立希望の里たいよう 事業報告書

1. 設置目的

常時介護を要する利用者への食事、入浴、排せつ等の介護、創作的活動又は生産活動の機会の提供その他、身体機能又は生活能力維持向上のための支援、又は、通常の事業所に雇用されることが困難な利用者への就労の機会を提供するとともに、生産活動その他の活動の機会の提供を通じて、その知識及び能力の向上のために必要な訓練等を行い自立した日常生活又は社会生活ができるよう支援をすることを目的とする。

2. 利用者登録状況(平成28年3月31日現在)

事業名	月別	4	5	6	7	8	9	10	11	12	28/1	2	3	合計
生活介護	登録人員	13	14	14	14	14	14	13	13	12	12	12	12	12
	入所	1												1
	退所						1		1					2
支援 就労移行	登録人員	11	12	11	11	11	11	7	7	7	6	6	6	6
	入所	1		1		2								4
	退所		1	1		2	4			1			1	10
支援 B型 就労継続	登録人員	62	63	63	63	63	63	62	65	66	67	68	68	69
	入所	1	1					3	1	1			1	9
	退所		1				1			2				2
合計		89	90	89	88	90	88	85	86	86	86	86	87	87

① 定員77名 (生活介護事業12名・就労移行支援事業10名・就労継続支援B型事業55名)

※出勤稼働率 94 %

② 性別

事業別	男	女	計
就労移行支援	3	3	6名
就労継続支援B型	46	23	69名
生活介護	6	6	12名
合計	55	32	87名

④ 市町村別

市町村名	男	女	計
八代市	50	32	82名
氷川町	2		2名
芦北町	2		2名
菊陽町	1		1名
合計	55	32	87名

③ 平均年齢(満年齢)

性別	総年齢	平均年齢
男	2,405.1	43.7
女	1,325.7	41.4
合計	3,730.8	42.6

⑤ 障害種別

	生活介護	移行支援	継続B型	計
知的	8	3	49	60名
身体	4		15	19名
精神		3	5	8名
合計	12	6	69	87名

⑥ 年齢別

	15~19 歳	20~24 歳	25~29 歳	30~34 歳	35~39 歳	40~49 歳	50~59 歳	60歳 以上	合計
男		7	7	4	4	12	12	9	55名
女	1	2	4	1	7	8	7	2	32名
合計	1	9	11	5	11	20	19	11	87名

3. 職員配置状況(平成28年3月31日現在)

職 種	生活介護 常勤換算後の人数	就労移行支援 常勤換算後の人数	就労継続支援B型 常勤換算後の人数	計 職員数
	管理者	1	1	1
サービス管理責任者	1兼務	1兼務	1兼務	2
看護師	1			1
職業指導員		1	6.5	7.5
生活支援員	1	1	2	4
就労支援員		1		1
事務員兼指導員	1	1	1兼務	2
合 計	4	5	9.5	18.5

4. 事業実施内容(生活介護事業・就労移行支援事業・就労継続支援B型事業)

① 対象者

生活介護事業	就労移行支援事業	就労継続支援B型事業
・常時介護が必要な者で障害程度区分3以上の利用者、または年齢が50歳以上で障害程度区分2以上の者。	・一般就労を希望する65歳未満の者。利用は原則2年間。	・就労経験がある者で、年齢や体力の面で企業や就労継続支援A型等で雇用されることが困難となった者。 ・就労移行支援事業を利用した結果、就労継続支援B型の利用が妥当と判断され、企業や就労継続支援A型事業の雇用に結びつかなかった者。 ・既に50歳に達している者。

② 支援計画

支援にあたっては、利用者個々の特性、性格、能力及びその家庭環境を総合的に把握し利用者本人及び家族の要望、意見等を十分に聞き、各自一人一人に適した個別支援計画を定め計画に基づき支援に当たってきました。また、この支援計画は必要に応じて、見直しを行い支援に当たってきました。

(生活介護・就労継続支援B型は、6ヶ月に1回以上・就労移行支援は、3ヶ月に1回以上)

生活介護(生産活動)

・フルーツキャップ折・ボール・箸入れ・ビーズ

職員数	利用者数	件数	延べ日数	延べ人員	目標額	実績額
2名	12名	27件	289日	2,024人	317,000円	73,555円
作業を通じて指先等のリハビリ効果に繋がった。						

・就労移行支援事業

(職業指導支援)

・印刷事業

職員数	利用者数	件数	延べ日数	延べ人員	目標額	実績額
3名	15名	1,285件	241日	2,488人	11,000,000円	13,073,252円
オンデマンド印刷機の導入等により受注幅が拡がり収入増額に繋がった。						

・パン製造・販売事業

職員数	利用者数	年間個数	延べ日数	延べ人員	パン種類	目標額	実績額
3名	13名	50,077個	217日	2,229人	45種	8,001,000円	6,585,737円
主な販路は、委託販売として、(八代市役所売店、マックスバリュ、その他)対面販売として、(各イベントへの参加、官公庁、福祉施設、学校関係、一般企業等へ)販売を展開してきた。今年度、平成27年9月より、やつしろハーモニーホールでの委託販売を行っている。							

・就労継続支援B型事業

(職業指導支援)

・買物カゴ洗浄事業

職員数	利用者数	個数	延べ日数	延べ人員	目標額	実績額
2名	13名	677,962個	268日	2,765人	8,211,000円	7,240,578円
H27年10月のダイエー閉鎖に伴う、受注数(個数)の減少によるものと思われる。						

・公園作業

職員数	利用者数	作業場所	目標額	実績額		
3名	19名	・麦島東公園・水無川公園 ・末広公園 ・金剛自然観察者用駐車場	4,641,000円	4,863,436円		
		・麦島東公園	作業稼働日数	148日	延べ人員	2,375人
		・末広公園	作業稼働日数	103日	延べ人員	1,660人
		・水無川公園	作業稼働日数	125日	延べ人員	2,012人
		・金剛自然観察者用駐車場	作業稼働日数	91日	延べ人員	1,460人
		・熊本総合病院駐車場	作業稼働日数	13日	延べ人員	91人
・今年度、新規契約により熊本総合病院駐車場清掃を行った。						

・軽作業

職員数	利用者数	作業種類			目標額	実績額
2名	15名	フルーツキャップ折・箱折・EMボカシ販売・ボール洗浄・カート清掃・シール貼り			1,000,000円	1,852,519円
作業種		個数	延べ日数	延べ人員	委託元	
フルーツキャップ		1,159,928個	240日	2,089人	インターナショナル・ケミカル(下請)阿蘇郡	
箱折		114,973個	205日	60人	すずきパッケージ(下請)八代市	
箱製缶		255,313個	232日	1,500人	中川パッケージ(下請)八代市	
ボール洗浄		66,000個	19日	173人	(株)モードテラ(下請)東京都	
EMボカシ製造・販売		2,700個	32日	71人	自主製品	
カート清掃		900台	90日	135人	ジャスコ八代店(下請)イオン	
シール貼り		18,680枚	14日	32人	西田精麦(株)・八代市観光振興課	
<p>重度者向けの作業種目として位置付けて実施してきた。全員が協力し作業を行った結果、目標額を達成することができた。今年度よりシール貼りの仕事を受注した。</p>						

③ 利用者月額平均工賃

(全体の平均)

生活介護 12名	就労移行 6名	B型事業 69名	一人当たりの月額平均工賃
2,903円	12,097円	16,143円	13,722円

5. 移行支援事業 就労基本訓練

<ul style="list-style-type: none"> ・期日 毎週火・木曜日 ・時間 15:30~16:00 ・対象者 10名 ・指導者 2名 	<ul style="list-style-type: none"> ・就労への意識付け ・就職に必要な心構えについて ・挨拶の重要性について ・履歴書の書き方 ・パソコンに関する知識の向上
---	--

以上の就労基本訓練を行った。

6. 送迎サービス

たいよう送迎利用者			徒歩	自転車	自家用車送迎	自家用車
コース	車種	人員				
南廻り(郡築方面)	リフト付きマイクロバス	18名	3名	15名	6名	7名
北廻り	29人乗りマイクロバス	18名				
鏡町廻り	8人乗りワゴン	6名				
坂本廻り	4人乗りワゴン	6名(2回)				
日奈久廻り	4人乗りワゴン	3名				
金剛廻り	8人乗りワゴン	5名				
計	6台	56名	3名	15名	6名	7名
合計	87名					

※送迎支援を実施した結果

- ・利用者定員の確保に繋がった。
- ・出退勤時の交通事故防止に繋がった。

7. 日常生活支援

- ・基本的な生活(挨拶、身だしなみ、清潔等)金銭管理、交通安全等の支援
- ・自立するための段階的な支援
- ・利用者間のトラブルの未然防止に努める。(意見箱設置、口頭による意見要望)
- ・利用者の悩み、問題等への相談支援を行ってきた。

8. 健康管理

- ・毎月1回の身体測定(身長、体重、血圧、体温)年一回の健康診断の実施
- ・毎朝、体操の支援、健康状態の把握に努めた。

9. 第7回希望の里たいよう・千の穂合同祭

- ・期日:平成27年11月14日(土)実施(利用者や地域住民の方の歌や踊り等で終日楽しく交流ができた。)
来場者約700名(雨のため、昨年より200名ほど減)
- ・毎月1回施設周辺の清掃を行った。(ゴミ拾い、空き缶拾い、草取り)

10. 支援結果

(1)生活介護事業

- ・食事、入浴、トイレ介助は、利用者に合わせ個別支援を行った。
- ・軽運動
嘱託医の指導により平行棒を使った歩行訓練、バランスボールでの平行感覚等を個々に合わせてた機能維持訓練を行った結果、①肥満傾向にあった利用者が減量できた。②歩行が困難な利用者の下肢の強化に繋がった。
- ・学習活動、創作活動
 - ① 数字、文字等繰り返し学習することで少しづつ習得されてきた。
 - ② 余暇活動では、ドライブ等で季節感を養うことができた。
- ・重度の利用者(区分5)に対しては、職員を増員し、1対1での対応を行った。

(2)就労移行支援事業

①パン製造・販売

- ・利用者各々が作業に対して責任感が出てきている。
- ・パン販売をとおして、接客、電卓、レジ等の技術向上に繋がった。
- ・毎日、朝礼時に挨拶・接客時の声だし訓練(いらっしやいませ・ありがとうございました)を行うことで全員が大きな声でいえるようになってきた。
- ・作業を通じて勤労意欲が身についてきた。

②印刷作業

- ・印刷関連機器(パソコン、製本機、リリ付け機、計数機)の操作について利用者の技術向上がみられる。
- ・切り取り線入れについては、支援を必要とせず利用者一人で行うことができるようになった。
- ・指導により作業上で使用する数字の把握ができるようになってきた。
- ・全体的に利用者の自主性、集中力、忍耐力、持続力等が身についた。又、作業技術の向上に繋がった。
- ・作業を通じて勤労意欲が身についてきた。

(3)就労継続支援B型事業

①買物カゴ洗浄作業

- ・利用者が作業を幅広くできるようになるため作業配置の交代制を導入した結果、全体的に作業技術の向上に繋がった。
- ・毎日の朝礼、終礼時に挨拶や返事の重要性について強調した結果、自らの大きな声で挨拶と返事が言えるように成長に繋がった。
- ・何事にも自主的に行動に移せるようになってきた。
- ・持続性、協調性について身につけてきた。
- ・作業を通じて勤労意欲が身につけてきた。

②公園作業

- ・個別指導により、利用者の草刈り機、芝刈り機等の操作技術が向上に繋がった。
- ・作業を通じて協調性、忍耐力が養われてきた
- ・作業を通じて勤労意欲が身につけてきたと

③軽作業、

- ・挨拶、返事が積極的に大きな声で言えるようになってきた。
- ・フルーツキャップ折、箱折り、カート清掃、ボカシ製造等を通して、勤労意欲が高まり、同時に協調性、持続性が身につけてきた。又手先等の機能回復に繋がった。
- ・作業を通じて勤労意欲が身につけてきた。
- ・自閉的傾向の利用者が(足、頭、鼻等を石鹸で必要以上に洗い、泡だらけになっている状況があった)、職員が連携した取り組みにより改善ができたが、注意観察が必要である。

(4)一般就労移行者(就職)

就労移行支援事業

事業名	氏名	性別	年齢	採用日	就職先
就労移行支援事業	M・A	女性	50代	H27. 5. 11	イオンデュライト(カゴ洗浄部門)

就労継続支援B型事業

事業名	氏名	性別	年齢	採用日	就職先
就労継続支援B型事業					
	該当者無				

平成 27 年度 行 事 実 施 表

(八代市立希望の里たいよう)

月別	行事関係	防災対策	施設管理	作業実習生関係	交流	研修会関係
4	6-10利用者体調週間 13 就労移行勉強会 18 家族会総会/ビデオ鑑賞 27 就労移行勉強会	28 避難訓練	2 臨時職員会議 14 生活介護会議 15 就労B型会議 17 就労移行会議 21 職員会議	14, 15, 17 たいよう利用体験 1名 27 たいよう利用体験 1名	9 高田小学校入学式参加 9 八代支援学校入学式参加 15 イベントより来所 2名	17 城南ブロック施設長会議 1名 20 すまいるフェスタ実行委員会 1名 28 施設協会施設長会議 1名
5	9 レクリエーション(ドライブ) 11-15 利用者体調週間 11 就労移行勉強会 16 レクリエーション(ボウリング) 21 地域清掃 23 レクリエーション(カラオケ) 25 就労移行勉強会 30 すまいるフェスタ2015参加(人吉市)	18 消防署立入検査 28 避難訓練	12 生活介護会議 13 就労移行会議 14 就労B型会議 23 職員会議	7, 8 たいよう利用体験 1名	7 市民体育祭開会式参加 16 八代支援学校運動会参加	18 すまいるフェスタ会議 2名 20 施設協会評議員会 1名 26 就労ネットワーク会議 1名 29 市障がい者福祉事業所連絡会総会 2名 29 スマイルフェスタ準備 2名
6	3, 5 利用者特定健診(40歳以上) 8-12 利用者体調週間 8 就労移行勉強会 19 地域清掃 22 就労移行勉強会 24 健康相談(田淵囀託医)	29 避難訓練	15 就労移行会議 17 移行B型会議 19 生活介護会議 23 職員会議	8 八代支援学校 1名 15-19 松橋支援学校 1名 5-13 中九州短大 5名	9 八代支援学校 2名4名 19 球磨支援学校 5名 19 スマイル 2名	2 県社会就労センター施設長会 1名 4 中九州短大実習受入説明会 1名
7	4 市いきいきふくしスポーツ大会参加 6-10 利用者体調週間 9 施設内研修(熱中症) 13 就労移行勉強会 23 八代港客船見学(パン・カゴ・生活) 27 就労移行勉強会	29 避難訓練	14 就労B型会議 15 生活介護会議 16 移行支援会議 22 職員会議	7-8 日奈久中学校 2名		23 自閉症・発達障がい研修 2名 28 就労ネットワーク会議 1名
8	3, 4 利用者特定健診(40歳以下) 8 レクリエーション(ドライブ) 10 就労移行勉強会 22 レクリエーション(ドライブ) 24 就労移行勉強会 25 台風のため臨時休業 29 レクリエーション(ドライブ)	27 避難訓練	18 生活介護会議 19 就労移行会議 20 移行B型会議 21 職員会議	24-9/9 中九州短大 1名		26, 31 県相談支援従事者初任者研修 1名
9	5 レクリエーション(ベタンク) 7-11 利用者体調週間 12 レクリエーション(ドライブ) 14 就労移行勉強会 26 レクリエーション(ドライブ) 26 市民体育祭(フライングディスク) 28 就労移行勉強会	24 消防総合訓練	15 就労B型会議 16 生活介護会議 17 就労移行会議 18 職員会議	8/24-9/9 中九州短大 1名 1-2 九州看護福祉大学 1名 8-10 八代第3中学校 2名	3 なのみ学園 4名 25 高田小2年生 5名	15 労務者研修 1名 25 県施設協会施設長会議 1名 29, 30 県相談支援従事者初任者研修 1名
10	3 レクリエーション(ドライブ) 5 地域清掃 5-9 利用者体調週間 9 就労移行勉強会 10 施設内研修(感染症・ベタンク) 27 社会科見学(パン班:荒尾)	29 避難訓練	14 生活介護会議 15 就労移行会議 16 就労B型会議 22 職員会議		8 高田小2年生 20名 10 八代学園祭見学 15 八代東D-ｸﾞﾗﾌﾞ 30名 22 八代支援学校 2名	9 食品衛生講習会 1名 21 県相談支援従事者初任者研修 1名 28 就労支援セミナー 2名
11	4 地域清掃 7 市ふれあいフェスタ参加 9-13 利用者体調週間 14 第7回たいよう祭 20 社会科見学(生活介護:嘉島) 26 就労移行勉強会 26 社会科見学(軽作業:阿蘇) 28 レクリエーション(ドライブ)	25 避難訓練	17 生活介護会議 18 就労移行会議 19 就労B型会議 20 職員会議	4 八代支援学校 1名 25-27 松橋西支援学校 1名 11/25-12/1 A型事業所とらいふへ実習 1名		17 法人会計実務研修会 1名 24 市障がい者福祉事業所連絡会会議 1名 24 就労ネットワーク会議 1名 26 虐待防止・権利擁護研修会 1名 27 福祉サービス苦情解決研修会 1名
12	5 レクリエーション(ドライブ) 5 スポーツ交流会風船バレー参加 7-11 利用者体調週間 8 社会科見学(公園班:天草) 9 地域清掃 9 大相撲八代場所見学 11 利用者・家族・職員との交流会 20 レクリエーション(ドライブ) 25 餅つき会 26 レクリエーション(DVD鑑賞) 28 大掃除・利用者仕事納め	25 避難訓練	15 生活介護会議 17 就労移行会議 18 就労B型会議 19 職員会議		15 松高校区民生児童委員 20名	6-7 城南ブロック施設長会 1名 8 中九州短大実習受入説明会 1名 9 県障害者虐待防止・権利擁護研修会 1名 10 県障害者虐待防止・権利擁護研修会 1名 16 県社会就労センター施設長会 1名 22 サービス管理責任者研修会 2名
H27.1	4 仕事始め 4-8 利用者体調週間 6 社会科見学(カゴ班:熊本市) 7 地域清掃 9 レクリエーション(初詣) 16 レクリエーション(鏡開き・DVD鑑賞) 23 レクリエーション(ドライブ) 25 大雪のため臨時休業 28 社会科見学(印刷班:熊本市) 30 レクリエーション(カラオケ)	27 避難訓練	14 生活介護会議 14 就労移行会議 15 就労B型会議 21 職員会議	20, 27 松橋支援学校永川教室 3名		22 施設協会施設長連絡会 1名 26 就労ネットワーク会議 1名 26, 27 サービス管理責任者研修会 1名 28, 29 サービス管理責任者研修会 1名
2	4 地域清掃 8-12 利用者体調週間 20 レクリエーション(ドライブ) 23 交通安全教室	25 避難訓練	16 生活介護会議 17 就労移行会議 18 就労B型会議 22 職員会議	3, 10, 17 松橋支援学校永川教室 3名 1-17 中九州短大 4名 2/22-3/8 中九州短大 4名		16 工賃向上支援研修会 1名 18, 19 サービス管理責任者研修会 1名
3	2 地域清掃 5 レクリエーション(ドライブ) 7-11 利用者体調週間 14 就労移行勉強会 28 就労移行勉強会	24 消防総合訓練	15 生活介護会議 17 就労移行会議 18 就労B型会議 22 職員会議	2/22-3/8 中九州短大 4名 9-25 中九州短大 3名		16 市障がい者福祉事業所連絡会会議 1名 23 施設協会評議員施設長・サビ管研修 2名 23 県指定障害福祉サービス事業者集団指導 1名
合計				体験実習件数 20件 体験実習延べ人数 290名	交流団体件数 15件 交流者延べ人数 119名	